



かぶっとこ通信

令和3年度
第6号

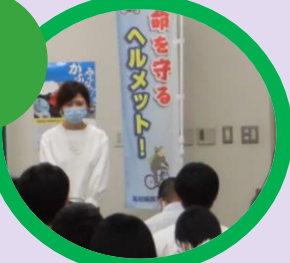
発行：高知県教育委員会事務局 学校安全対策課

令和3年10月6日（水）に県立中村中学校において開催された
「命を守るヘルメット！」交通安全講演会の内容について紹介します。



■ R3.10.6開催「命を守るヘルメット！」交通安全講演会(県立中村中学校)

講話



講師の塩見絵里香さんは、自身のお子さんが自転車乗車中に交通事故に遭い、一時意識不明の重体になった経験をされた方で、講演では入院中の映像を使いながら、家族の苦しみや後悔を自身の体験を踏まえて、お話してくださいました。



【交通安全講演会の感想】

【ヘルメットの重要性】

講演会を受けて、ヘルメットの重要性について改めて強く感じることができました。

ほんの一瞬の事故が自分の命に関わり、今までできていたことができなくなってしまうと思うと、怖さや悲しさ、悔しさなど複雑な気持ちが込み上げてきました。自分は大丈夫だから、事故に遭わないからヘルメットをかぶらないという行為は本当に危険なことだと感じました。

いつ自分が事故に遭うか分からない、万が一事故に遭っても重症化しないように、これからも正しくヘルメットをかぶって自転車に乗りたいです。



【講演会での教訓】

交通安全講演会を聞いて一番心に残ったのは、自転車に乗るときにはヘルメットをきちんとかぶらないといけないということです。

毎年、自転車の事故が多いと聞き、亡くなった人も多いと聞きます。ヘルメットをかぶっていれば、助かる命もあるということを中心に改めて自転車に乗ろうと思いました。そして、ヘルメットをかぶるだけでなく、交通ルールを守って事故を起こさないようにしたいです。「事故が起きてからでは遅い」という言葉どおり、事故が起きる前に自分の身をきちんと守っていきたいです。

【家族への思い】

交通事故は、自分だけの問題ではないと改めて思いました。自分を大切にしてくれる家族に心配をかけ、苦しい思いをさせてしまうと考えると、自分のためだけでなく、家族のためにも自分の身は自分で守れるようにしていきたいと思いました。

またヘルメットの大切さも改めて感じ、事故はいつ誰に起きるか分からないので、自分にできる備えをするべきだと思いました。ヘルメットは自由がなく暑いけど、命を守るために必ずつけようと思いました。

塩見さんの話を聞いて、親はどれだけ子供を大切に思っているか、何かあった時に親がどれだけ心配するのかすごく伝わりました。しっかり交通ルールを守って、命を守りたいです。



講演会を終えて生徒達は、「ヘルメットは命を守る大切なもの」「家族に心配させないように、自転車乗車時にはヘルメットの着用を習慣づける」など、今後の自分自身の行動について、前向きな声が多く聞かれました。

みんなあでかぶろうや!